

「系統表」の考え方

平成29年3月

1 キャリア学習とピア・サポートを中核として

系統図（育成を目指す資質・能力の一つ一つについて、発達段階に応じた目指す児童生徒の具体的な姿を明記した表）について生徒の具体的な姿を考え易いのは、教科よりも道徳、特活（生徒会・行事）、総合的な学習の時間、部活動、ボランティア活動であろう。そこで、資質・能力ごとに道徳、特活（生徒会・行事）、総合的な学習の時間、部活動、ボランティア活動の場面での生徒の各学年・各学期における成長を思い浮かべイメージすることが必要になる（同じ姿が続く場合もある）。

この場合、総合的な学習の時間で学ぶことは一貫性が必要となる。本校の総合的な学習の時間の主となるキーワードは、「キャリア学習」「ピア・サポート」である。中学校3年間で、教科の学習、道徳、特活（生徒会・行事）、総合的な学習の時間を通して、夢をもち、仲間と切磋琢磨し進路を切り拓く生徒を育成する。その土台となるのが「ピア・サポート」であるという視点からこの2つを中核に据える。

2 ピア・サポートとは

ピアとは、{仲間}、サポートとは、「支援する」という意味で、「お互いに支えあって課題を解決していく」という活動を「ピア・サポート活動」という。互いにサポートし合うことで、「助けられてよかった」「助けてよかった」という「温かい気持ち」や「自尊感情の高まり」などを醸成し、「ともに高め合う」関係を作っていくことがねらいである。

本校では、このピア・サポート活動を学校教育活動の様々な場面に活用して取り組んでいる。具体的には、総合的な学習の時間を使ったピア・サポート活動である。この取組を通して、「人に関わる力」「課題解決する力」を身に付け、親和性の高い集団づくりにつなげている。

親和性の高い集団を目指すことで、生徒は安心して学校生活を送ることができ、適切なコミュニケーションを図りながら様々な課題を解決することができると思う。

「学びの変革」においても、「主体的な学び（学習者基点で能動的な深い学び）」を身に付けさせるためには、このピア・サポートが重要であると思う。

3 第三中学校の主要行事等

	1 学期	2 学期	3 学期
1 年生	オリエンテーション 学級づくり 部活動紹介 防災学習 SCによる全員面談 面談（担任） 三者面談 中体連大会	運動会 防災学習 学習発表会 面談（担任） 三者面談 中体連大会	中中ピア（中2が中1に進路 情報説明）

2年生	学級づくり 職場体験学習 中体連大会	運動会 学習発表会 修学旅行（首都探訪・企業訪問）に向けて 中体連大会	中高ピア（ようこそ先輩） 中中ピア（進路学習） SCによるキャリアカウンセリング
3年生	学級づくり 部活動紹介 保育実習 小中ピア（小6への部活動紹介） 進路説明会 進路面談（校長・担任） 中体連大会	運動会 学習発表会 進路説明会 SCによるキャリアカウンセリング 進路面談（校長・担任）	進路面談（校長・担任・副担任）

4 三中が育成を目指す資質・能力の各学年での目指す生徒の姿・在り様（全体の系統表）

より具体的な姿として考える。

（1）課題発見・解決力

	1学期	2学期	3学期
1年	疑問を持つことができる。（1授業1つ以上の質問が作れる）		
2年			
3年			

以下同

5 三中が育成を目指す資質・能力の各教科・各学年での目指す生徒の姿・在り様（教科等の系統表）→ 年間指導計画に反映させる

【国語科】

（1）学力

	1学期	2学期	3学期
1年			
2年			
3年			

（2）課題発見・解決力

	1学期	2学期	3学期
1年			
2年			
3年			

以下同